



## 2021年11月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月11日

上場会社名 アヲハタ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2830 URL http://www.aohata.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 範雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営本部長 (氏名) 石橋 弘行 TEL 0846-26-0111  
 定時株主総会開催予定日 2022年2月18日 配当支払開始予定日 2022年2月21日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年2月21日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年11月期の連結業績（2020年12月1日～2021年11月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期	20,183	△1.3	904	15.8	971	27.0	570	△3.6
2020年11月期	20,439	0.8	780	55.7	764	70.2	592	151.0

(注) 包括利益 2021年11月期 693百万円 (4.4%) 2020年11月期 664百万円 (542.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年11月期	69.26	—	4.5	5.3	4.5
2020年11月期	71.53	—	4.8	4.0	3.8

(参考) 持分法投資損益 2021年11月期 -百万円 2020年11月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期	17,775	12,937	72.8	1,570.48
2020年11月期	18,791	12,503	66.5	1,510.45

(参考) 自己資本 2021年11月期 12,937百万円 2020年11月期 12,503百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年11月期	1,797	△382	△1,444	933
2020年11月期	1,834	△224	△1,459	941

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年11月期	—	10.00	—	10.00	20.00	165	28.0	1.4
2021年11月期	—	10.00	—	10.00	20.00	164	28.9	1.3
2022年11月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		28.4	

### 3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	3.1	850	△6.0	860	△11.5	580	1.6	70.41

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）テクノエイド株式会社

テクノエイド株式会社は、2021年11月1日付けで当社と吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期	8,292,000株	2020年11月期	8,292,000株
② 期末自己株式数	2021年11月期	54,064株	2020年11月期	14,018株
③ 期中平均株式数	2021年11月期	8,241,349株	2020年11月期	8,278,055株

(参考) 個別業績の概要

2021年11月期の個別業績（2020年12月1日～2021年11月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期	19,643	△1.3	884	20.6	937	15.2	913	39.3
2020年11月期	19,894	△0.0	733	51.0	813	48.3	655	87.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期	110.87	—
2020年11月期	79.22	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年11月期	17,931		12,861		71.7		1,561.25	
2020年11月期	18,919		12,185		64.4		1,472.07	

(参考) 自己資本 2021年11月期 12,861百万円 2020年11月期 12,185百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
(4) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17
(1) 役員の異動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### [当期の経営成績]

##### ①業績全般

当連結会計年度における国内経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が継続したこともあり厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は、個人消費についてはやや持ち直しは見られるものの、先行きの不安もあり依然として消費者の節約志向は続きました。

このような状況のもと、当社グループは2019年度からの3年間を対象とする中期経営計画に基づき、「フルーツのアヲハタ」をテーマとして取り組んでまいりました。

売上につきましては、ジャムやホイップ・スプレッドなどの家庭用は、コロナ禍における巣ごもり需要に支えられてはいますが、前年と比較しますと厳しい結果になりました。また、産業用はアイスクリームや乳飲料向け等の新たな受注が増加しました。一方、生産受託他における外食・ホテル向け商品の販売は依然低調であり、カット野菜の生産移管の影響もあり、売上高は201億83百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

利益につきましては、産業用の売上高が堅調に推移したことに加え、引き続き販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は9億4百万円（前年同期比15.8%増）、経常利益は9億71百万円（前年同期比27.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、フルーツ加工品類の生産設備の減損損失を計上した影響により、5億70百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

##### ②製品等の区分別の営業概況

###### (家庭用)

家庭用につきましては、内食需要が堅調に推移し、「アヲハタ・まるごと果実」シリーズやホイップ・スプレッド類が伸長したものの、全体としては、前年の需要の反動もあり、減収となりました。

この結果、家庭用の売上高は119億15百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

###### (産業用)

産業用につきましては、お土産品や贈答品向け商品の需要回復が遅れたものの、一方でアイスクリームや乳飲料向け等の新たな受注が増加したことで、増収となりました。

この結果、産業用の売上高は50億81百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

###### (生産受託他)

生産受託他につきましては、介護食である「キューピー・やさしい献立」シリーズなどの家庭内食向け商品は伸長しましたが、外食・ホテル向けの業務用ジャム等の販売が減少したこと、また、カット野菜の生産移管もあり、減収となりました。

この結果、生産受託他の売上高は31億86百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

## 〔次期の見通し〕

次期の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、引き続き景気の先行き不安も払拭せず、生活必需品における節約志向は継続するものと考えられます。また、原材料価格の上昇は続き、人件費や物流コストも増加することが予想されます。

このような環境にあつて当社グループは、2021年12月からの3年間の中期経営計画を策定いたしました。家庭用の基幹商品であるジャム・スプレッド類は引き続き市場の活性化に取り組むとともに、即食タイプの新たなフルーツ加工品の展開をさらに加速させてまいります。産業用は市場変化に対応し、素材の良さを引き出す技術を活かして利益体質の強化を進めてまいります。また、今後も引き続き原材料価格の上昇が見込まれる中、果実原料の調達コストの上昇を抑えるとともに、技術革新による生産コストの低減を進めてまいります。

次期の業績につきましては、売上高は208億円、営業利益は8億50百万円、経常利益は8億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5億80百万円を見込んでおります。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億16百万円減少し177億75百万円となりました。資産の増減の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少2億4百万円、商標権の減少2億11百万円、機械装置及び運搬具の減少3億1百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億50百万円減少し48億37百万円となりました。負債の増減の主な要因は、長期借入金の増加2億14百万円、短期借入金の減少4億円、1年内返済予定の長期借入金の減少10億円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億34百万円増加し129億37百万円となりました。純資産の増減の主な要因は、利益剰余金の増加4億5百万円、退職給付に係る調整累計額の増加69百万円などです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し、9億33百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、17億97百万円となりました。主な要因は、減価償却費9億91百万円、税金等調整前当期純利益7億90百万円、売上債権の減少額2億9百万円、たな卸資産の増加額65百万円などによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、3億82百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出3億45百万円などによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、14億44百万円となりました。主な要因は、短期借入金の純増減による支出4億円、長期借入金の返済による支出12億85百万円、配当金の支払額1億64百万円、長期借入による収入5億円などによるものです。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりです。

	2017年 11月期	2018年 11月期	2019年 11月期	2020年 11月期	2021年 11月期
自己資本比率 (%)	68.6	71.1	61.5	66.5	72.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	131.6	126.0	102.3	104.0	109.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	220.6	115.1	665.1	154.2	91.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	171.3	301.9	47.3	146.6	231.1

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象

としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

### (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しております。利益配分につきましては、安定的な配当の継続を基本としつつ、利益成長に基づく増配も視野に入れ、収益性の向上と経営効率を高める取り組みに努めてまいります。また、内部留保につきましては、今後の経営環境および長期事業展開に対応し、成長分野への投資などに有効活用していきたいと考えております。

当期の期末配当金につきましては、2021年1月7日開示の「2020年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、1株につき10円とさせていただきます。これにより中間配当金(1株につき10円)と合わせまして、年間配当金は1株につき20円となります。

次期の配当金につきましては、中間・期末とも1株当たり10円、年間20円とさせていただきます。また、株主優待制度として、毎事業年度末現在、100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対して1,000円相当、1,000株以上ご所有の株主様に対して3,000円相当の当社製品詰合せを贈呈することといたしております。

### (4) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

#### ①中長期的な基本方針と主な取り組み

当社グループは、社訓である「正直を以て宗とすること 信用を重んずること 和を以て尊しとなすこと」のもと、2021年12月からの3年間を対象とする新たな中期経営計画を策定しました。2018年の創立70周年を機に、掲げた2028年ビジョン「フルーツで世界の人を幸せにする」をめざし、5つの経営方針「ジャム・スプレッド事業の盤石化」、「産業用事業での新たな成長モデルの構築」、「海外(中国)成長市場への本格参入」、「新フルーツカテゴリーの創造」、「一人ひとりが挑戦し成長できる企業風土の創造」に継続して取り組みます。新たな中期経営計画におきましても、「フルーツのアヲハタ」の実現に向けて挑戦と変革を推進してまいります。なお、本計画における取り組み課題は以下の通りです。

#### 1. 家庭用ジャム・スプレッドの盤石化

家庭用ジャム市場の需要喚起に向けて、コロナ禍でのライフスタイルの変化に対応した用途創造と、新たな顧客の獲得を図る

#### 2. 産業用事業の収益事業への転換

素材の良さを引き出す技術を活かし、お客様にとっての付加価値の創出と、生産性向上による収益体質の強化を図る

#### 3. 新規カテゴリーの事業化

即食タイプのフルーツ加工品の展開と新販路の開拓で、新たな市場を創造する

#### 4. 海外(中国)事業の強化

グループ協働で市場での競争力を高め、事業拡大を図る

#### 5. 原料調達力の強化

気候変動リスクへの対応など持続可能なサプライチェーンを再構築し、品質とコスト競争力を高める

#### 6. 多様な人材が活躍でき、一人ひとりが挑戦し成長できる企業風土の創造

新たな働き方を推し進めるとともに、コミュニケーションを充実させることで、個人の成長をあと押しする

#### ②目標とする経営指標

当社グループは、今中期経営計画における達成指標として、売上高営業利益率6.5%、自己資本当期純利益率(ROE)7%以上を目標としております。また配当については、上記「(3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」に記載のとおり、安定的な配当の継続を基本としつつ、利益成長に基づく増配も視野に入れ、収益性の向上と経営効率を高める取り組みに努めてまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当連結会計年度 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	941,291	933,332
受取手形及び売掛金	3,667,403	3,462,965
商品及び製品	1,534,254	1,646,000
仕掛品	58,831	64,583
原材料及び貯蔵品	3,220,033	3,192,143
その他	295,506	212,829
貸倒引当金	△2,970	—
流動資産合計	9,714,350	9,511,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,702,565	6,905,667
減価償却累計額	△4,702,186	△5,095,605
建物及び構築物 (純額)	2,000,379	1,810,062
機械装置及び運搬具	7,383,300	8,098,592
減価償却累計額	△4,770,341	△5,787,065
機械装置及び運搬具 (純額)	2,612,959	2,311,527
土地	1,361,215	1,357,979
建設仮勘定	84,337	85,733
その他	822,126	951,029
減価償却累計額	△696,154	△838,868
その他 (純額)	125,971	112,161
有形固定資産合計	6,184,864	5,677,463
無形固定資産		
商標権	1,687,343	1,476,271
ソフトウェア	235,270	164,045
その他	20,031	19,880
無形固定資産合計	1,942,645	1,660,196
投資その他の資産		
投資有価証券	191,190	180,180
繰延税金資産	455,501	433,770
その他	302,699	311,641
貸倒引当金	△20	—
投資その他の資産合計	949,371	925,592
固定資産合計	9,076,880	8,263,252
資産合計	18,791,231	17,775,107



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当連結会計年度 (2021年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,606,412	1,549,791
短期借入金	400,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,285,852	285,852
未払金	584,345	604,056
未払法人税等	262,707	109,117
売上割戻引当金	7,539	6,533
賞与引当金	25,937	22,254
役員賞与引当金	9,984	7,337
その他	394,456	417,722
流動負債合計	4,577,234	3,002,664
固定負債		
長期借入金	1,142,444	1,356,592
退職給付に係る負債	507,264	417,370
資産除去債務	60,043	60,169
その他	802	802
固定負債合計	1,710,553	1,834,933
負債合計	6,287,788	4,837,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	915,100	915,100
資本剰余金	1,305,894	1,305,894
利益剰余金	10,297,672	10,703,333
自己株式	△15,991	△110,301
株主資本合計	12,502,675	12,814,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,548	4,911
繰延ヘッジ損益	△1,315	18,838
為替換算調整勘定	△54,957	△23,198
退職給付に係る調整累計額	53,493	122,931
その他の包括利益累計額合計	767	123,483
純資産合計	12,503,443	12,937,509
負債純資産合計	18,791,231	17,775,107

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
売上高	20,439,267	20,183,044
売上原価	14,860,834	14,554,044
売上総利益	5,578,432	5,629,000
販売費及び一般管理費	4,797,742	4,724,795
営業利益	780,689	904,205
営業外収益		
受取利息	2,963	3,543
受取配当金	52,851	2,360
受取賃貸料	22,016	21,922
受取ロイヤリティー	5,875	6,445
受取保険金	1,154	16,090
技術指導料	6,018	6,934
為替差益	—	45,807
その他	14,477	5,676
営業外収益合計	105,358	108,780
営業外費用		
支払利息	12,754	7,991
賃貸費用	12,307	12,358
固定資産除却損	3,678	12,990
為替差損	91,352	—
その他	1,032	8,145
営業外費用合計	121,125	41,485
経常利益	764,922	971,499
特別利益		
固定資産売却益	39,834	—
出資金売却益	360,112	—
特別利益合計	399,947	—
特別損失		
減損損失	286,799	181,419
特別損失合計	286,799	181,419
税金等調整前当期純利益	878,071	790,080
法人税、住民税及び事業税	345,978	236,681
法人税等調整額	△60,006	△17,420
法人税等合計	285,972	219,261
当期純利益	592,098	570,819
親会社株主に帰属する当期純利益	592,098	570,819

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
当期純利益	592,098	570,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,804	1,363
繰延ヘッジ損益	△11,121	20,154
為替換算調整勘定	11,023	31,759
退職給付に係る調整額	79,311	69,437
その他の包括利益合計	72,409	122,715
包括利益	664,508	693,535
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	664,508	693,535

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	915,100	1,305,894	9,879,413	△15,760	12,084,647
当期変動額					
剰余金の配当			△173,839		△173,839
親会社株主に帰属する当期純利益			592,098		592,098
自己株式の取得				△230	△230
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	418,259	△230	418,028
当期末残高	915,100	1,305,894	10,297,672	△15,991	12,502,675

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	10,352	9,805	△65,981	△25,818	△71,642	12,013,005
当期変動額						
剰余金の配当						△173,839
親会社株主に帰属する当期純利益						592,098
自己株式の取得						△230
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,804	△11,121	11,023	79,311	72,409	72,409
当期変動額合計	△6,804	△11,121	11,023	79,311	72,409	490,438
当期末残高	3,548	△1,315	△54,957	53,493	767	12,503,443

当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	915,100	1,305,894	10,297,672	△15,991	12,502,675
当期変動額					
剰余金の配当			△165,159		△165,159
親会社株主に帰属する当期純利益			570,819		570,819
自己株式の取得				△94,310	△94,310
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	405,660	△94,310	311,350
当期末残高	915,100	1,305,894	10,703,333	△110,301	12,814,026

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	3,548	△1,315	△54,957	53,493	767	12,503,443
当期変動額						
剰余金の配当						△165,159
親会社株主に帰属する当期純利益						570,819
自己株式の取得						△94,310
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,363	20,154	31,759	69,437	122,715	122,715
当期変動額合計	1,363	20,154	31,759	69,437	122,715	434,065
当期末残高	4,911	18,838	△23,198	122,931	123,483	12,937,509

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	878,071	790,080
減価償却費	1,019,741	991,060
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,098	△3,683
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,227	△2,647
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	30,454	9,500
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	28	△1,005
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△450	△2,990
受取利息及び受取配当金	△55,815	△5,904
支払利息	12,754	7,991
為替差損益 (△は益)	79,884	△7,037
減損損失	286,799	181,419
固定資産除却損	3,678	12,990
有形固定資産売却損益 (△は益)	△39,834	—
出資金売却損益 (△は益)	△360,112	—
売上債権の増減額 (△は増加)	432,136	209,297
受取保険金	—	△16,090
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△332,629	△65,581
仕入債務の増減額 (△は減少)	△146,764	△104,978
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	174,199	121,649
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△39,804	57,640
その他	△24,658	△40,300
小計	1,921,806	2,131,412
利息及び配当金の受取額	54,227	3,182
利息の支払額	△12,513	△7,779
保険金の受取額	—	16,090
法人税等の支払額	△165,017	△387,745
その他の収入	35,723	42,704
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,834,226</b>	<b>1,797,865</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△682,060	△345,972
無形固定資産の取得による支出	△23,573	△17,668
有形固定資産の売却による収入	91,177	263
投資有価証券の取得による支出	△341	△323
投資有価証券の売却による収入	—	12,870
出資金の売却による収入	435,124	—
その他	△45,149	△31,537
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△224,823</b>	<b>△382,368</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000,000	△400,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△285,852	△1,285,852
自己株式の取得による支出	△230	△94,310
配当金の支払額	△173,626	△164,704
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,459,709</b>	<b>△1,444,867</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52,513	21,411
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	97,179	△7,958
現金及び現金同等物の期首残高	844,111	941,291
現金及び現金同等物の期末残高	941,291	933,332

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	家庭用	産業用	生産受託他	合計
外部顧客への売上高	12,282,244	4,346,121	3,810,901	20,439,267

(2) 地域ごとの情報

①売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

②有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
加藤産業株式会社	4,508,895	食品事業
三菱食品株式会社	3,423,909	食品事業
キューピー株式会社	2,655,042	食品事業



当連結会計年度（自 2020年12月1日 至 2021年11月30日）

(1) 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	家庭用	産業用	生産受託他	合計
外部顧客への売上高	11,915,092	5,081,085	3,186,867	20,183,044

(2) 地域ごとの情報

①売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

②有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
加藤産業株式会社	4,611,642	食品事業
三菱食品株式会社	3,305,040	食品事業
キューピー株式会社	2,564,090	食品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年12月1日 至 2021年11月30日）

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年12月1日 至 2021年11月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年12月1日 至 2020年11月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年12月1日 至 2021年11月30日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
1株当たり純資産額	1,510.45円	1,570.48円
1株当たり当期純利益	71.53円	69.26円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当連結会計年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	592,098	570,819
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	592,098	570,819
普通株式の期中平均株式数(株)	8,278,055	8,241,349

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動 (2022年2月18日付)

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② 取締役の変動

1) 新任取締役候補

取締役

生産本部、果実原料本部および品質保証本部担当 堀 宏 (現 執行役員生産本部長)

2) 退任予定取締役

常務取締役

海外本部および果実原料本部担当 矢萩 直秀

常務取締役

生産本部および品質保証本部担当 沖野 光彦

(ご参考) 職務分担の変更

取締役

経営本部、財務本部および海外本部担当 清水 正史 (現 経営本部および財務本部担当)